

1. 日・キューバ官民インフラ会議(2月23日)

- (1) 日時：平成29年2月23日(木)10:00～17:00
- (2) 場所：キューバ共和国 ハバナ市内 ホテルナショナルデキューバ
- (3) 主催：(日本側)国土交通省 (キューバ側)建設省
- (4) 参加者：両国で約200名

(日本側の主な出席者) 国土交通省(花岡国土交通審議官、石垣国際建設産業企画官、魚住大臣官房参事官)、在キューバ日本国大使館(渡邊大使)、JICA、JETRO、日本キューバ経済懇話会(近藤会長)、(一社)海外建設協会(山口専務理事)、本邦インフラ関連企業28社 約80名

(キューバ側の主な出席者) メサ建設大臣、モランテ建設省戦略開発総局長、ロドリゲス運輸省次官、リバス外国貿易・外国投資省局長、政府関係機関 等

(5) 概要:

① オープニング・スピーチ(冒頭挨拶)

会議冒頭、花岡国土交通審議官、メサ建設大臣、渡邊大使、日本キューバ経済懇話会近藤会長、海外建設協会山口専務理事より、挨拶を行いました。

<花岡国土交通審議官の挨拶概要>

「昨年9月の安倍総理とカストロ国家評議会議長との日・キューバ首脳会談合意を踏まえ、本日、両国のインフラ分野における友好の歴史に新たなページを開くことをたいへん嬉しく思う。インフラ整備がキューバ政府の重要な課題の一つであると理解している。インフラ需要への対応に当たり、大切な視点が「インフラの質」。本日の会議には、日本の先進的なインフラ関連企業約30社が出席し、迅速かつ効率的な道路舗装技術、安全かつ安定的な橋梁技術、環境に優しい都市開発など、我が国が世界に誇る取組をキューバの皆さんと共有する。今後のキューバのインフラ整備に貢献できることを祈念。」

花岡国土交通審議官のオープニング・スピーチ



インフラ会議の様子



オープニング・スピーチ(冒頭挨拶)の後、基調講演、署名式、カンパニーセッション(企業紹介)、ワークショップ及びビジネスマッチングを実施しました。

② 基調講演

基調講演においては、国土交通省石垣国際建設産業企画官より「キューバの持続的発展に向けた日本の質の高いインフラ投資」、JICA小澤参事役より「道路・橋梁分野におけるアセットマネジメントの重要性」、JETRO メキシコ事務所峯村所長より「キューバのインフラ分野におけるジェトロの取組」、リバス外国貿易・外国投資省局長より「キューバにおける外国投資」のプレゼンテーションを実施しました。

③ 署名式（「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書に署名・採択）

花岡国土交通審議官は、メサ建設大臣、ロドリゲス運輸省次官との間で「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書に署名・採択しました。

署名式（花岡国土交通審議官、メサ建設大臣、ロドリゲス運輸省次官）



④ カンパニーセッション（企業紹介）

カンパニーセッションにおいては、我が国インフラ関連企業28社の代表が登壇し、「質の高いインフラ投資」の実績や技術等についてプレゼンテーションを実施しました。

⑤ ワークショップ

参加者の関心に応じ、「質の高い交通インフラ」、「質の高いインフラを支える先端環境技術等」の2テーマに分かれてワークショップを開催し、日本企業やキューバ政府関係機関等からのプレゼンテーションの後、活発な質疑応答、意見交換が実施されました。

⑥ ビジネスマッチング

日本企業が個別のブースに分かれ、関心を有するキューバ団体等と面談を実施しました。活発な情報交換を行い、日本企業とパートナーとなり得るキューバ政府関係機関等との間で関係構築を行いました。

日本及びキューバ共和国の代表



ビジネスマッチングの様子



2. キューバ共和国政府要人とのバイ会談(2月23日、24日)

花岡国土交通審議官をはじめとする代表団は、カブリス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣、メサ建設大臣、イスキエルド運輸大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣と、それぞれ会談を行い、安倍総理とラウル・カストロ・キューバ国家評議会議長の首脳会談の成果等を踏まえ、「質の高いインフラ」投資推進に向けた協力関係を強化することで一致しました。また、キューバ運輸省から要請されている運輸マスタープラン作成のための技術協力の可能性等について意見交換を行い、さらに、同行した我が国インフラ関係企業等を紹介しました。

- (1) カブリス閣僚評議会副議長からは、日本とキューバとの70年代からの長い関係を更に強化していくことが望ましいこと、運輸マスタープランを策定することは重要であること等の発言がありました。
- (2) メサ建設大臣からは、モランテ総局長からキューバ建設省の組織説明や案件紹介の後、2017年11月のQID(「質の高いインフラ対話」)の重要性を承知していること、工業省やエネルギー・鉱山省等他省とのコンタクトも支援したいこと等の発言がありました。
- (3) イスキエルド運輸大臣からは、日キューバの関係を再構築したいこと、また、ロドリゲス次官からMOCに基づくアクションとして運輸マスタープランや無償支援についての協力要請がありました。
- (4) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣からは、二国間の経済関係を推進していくこと、JICAの事務所を開くことが重要と認識していること、11月の国際見本市に向けて準備していくこと等の発言がありました。

3. その他(2月22日、23日、24日)

花岡国土交通審議官をはじめとする代表団は、キューバ最長のバクナヤグア橋や、マリエル開発特区の現場を視察しました。

カブリス閣僚評議会副議長とのバイ会談



メサ建設大臣とのバイ会談



マリエル開発特区視察



バクナヤグア橋視察

